



東京シェイクスピア・カンパニープロデュース

シェイクスピア・カフェ 8

「嫉妬という名のモンスター」

根深い兄弟・姉妹間の嫉妬を
「リア王」のテキストからあぶり出す



テキスト翻訳・演出：江戸馨

4月5日（土）15時&18時開演

大ママ🌹江戸馨 小ママ🌸つかさまり

バトラー🍷丹下（tama+ project）

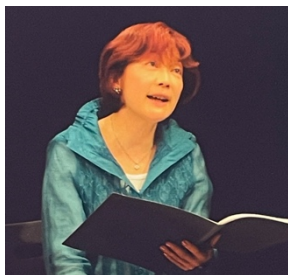
楽士🎸佐藤圭一（ちゃるぱーさ）

ご予約／お問合せ：edokaoru.tsc@gmail.com

<http://tokyoshakespeare.com/>

@下北沢 Reading Cafe ピカイチ TEL 070-5599-6821

ピカイチ <http://R.GOOPE.JP/PIKAICHI> 世田谷区北沢 1-40-11-102



About 東京シェイクスピア・カンパニー

Tokyo Shakespeare Company

演出家であり翻訳家でもある江戸馨が1990年に設立。江戸が原本から翻訳・演出をする日本で唯一のシェイクスピア劇専門のカンパニーとして活動が続けている。また、シェイクスピアを題材にしたオリジナルシリーズ「鏡の向こうのシェイクスピア」も。各地で再演を重ねている奥泉光（芥川・谷崎・野間、他文学賞受賞）作「リヤの三人娘」（演出：江戸馨）は、英語にも翻訳され、本国イギリスでも出版されている。

ドラマティック・リーディング シリーズ

2003年スタート。テーマを決めた場面の抜粋朗読から、全文朗読まで、その場にに合わせて内容と方法を変えている。東京の劇場以外でも、山手演劇祭（洋館）、大学、軽井沢（ペンション）等々、どこへでも出向いて上演。リーディングと同時に行われる、江戸馨の解説・解釈、過去の名舞台、舞台上演の裏話等一が楽しく、より理解を深める演出と好評を得ている。

今回の企画は、シェイクスピアの原文の面白さも俳優の声で体験してほしいとスタート。

同じ場面を江戸訳による日本語と英語で読むのが分かりやすく楽しめる、と好評。